

## メインテーマ「健康の公正性を目指して～病院と介護事業所の貢献～」 2024 年 11 月 6 日(水)～8 日(金) 広島国際会議場



地球規模の課題に 34 の国・地域の 800 名が議論を交わしました。



2024 年 11 月 6 日から 8 日、広島国際会議場で第 30 回国際 HPH カンファレンスを成功裏に開催することができました。関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

参加者は、34 の国と地域から 800 名でした。その内訳は、日本から 300 名、台湾から 400 名、その他のアジア諸国と地域から 40 名、欧米とアフリカ諸国の国地域から 60 名でした。

日本の施設が国際 HPH ネットワークに始めて加入したのが 2009 年でした。2015 年に日本 HPH ネットワークを結成し、今回のカンファレンスは 2 年の期間をかけて準備をすすめてきました。日本組織委員会には、我が国を代表する医療界、研究者の先生方が顧問として、あるいは、プログラム委員としてご協力いただきました。カンファレンスでは、世界的に健康格差が広がる中で、ヘルスプロモーションがその解決にどのように貢献できるかを議論するため、「健康の公正性を目指して～医療機関と介護事業所の貢献～」をテーマに設定しました。3 日間の議論を通して、HPH として健康の公正性の実現のために取るべき行動の具体的な解が見つかったものと確信しています。カンファレンス参加の皆さんには、カンファレンスの成果を皆さんの国と地域の施設に持ち帰り、大いに広げていただきたいと思います。

来年は広島と長崎への原爆の投下から 80 年を迎えます。カンファレンスの開会式では、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）事務局次長の児玉三智子さんから、ご自身とご家族の被爆体験と核兵器の廃絶への訴えを聞く貴重な機会がありました。児玉さんのスピーチが終わるとスタンディングオベーションとなり、惜しめない拍手が続きました。ヘルスプロモーションの前提条件である平和と核兵器の廃絶に向けて努力することを、会場の参加者で固く誓い合うこともできました。

さて、次回の国際 HPH カンファレンスは、2026 年 5 月にスウェーデンの第 3 の都市であるマルメ（Malmö）で開催されます。ヘルスプロモーションの実践と研究の成果を、次回のカンファレンスに向けて持ち寄ることを呼びかけて御礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2024 年 11 月 11 日

舟越光彦

第 30 回国際 HPH カンファレンス日本組織委員会事務局長  
公益社団法人福岡医療団 理事長  
千鳥橋病院予防医学科科長  
日本 HPH ネットワーク コーディネーター



開会挨拶（左上より）  
ラルフ・ハーリッド氏  
（国際 HPH ネットワーク  
運営理事会議長・ス  
ウェーデン HPH ネット  
ワークコーディネーター）、  
サラ・ルイーゼ・  
バーバー氏（WHO 神戸  
センター所長）、  
島内憲夫氏（第 30 回  
国際 HPH カンファレン  
ス日本組織委員会委  
員長）・クリスティー  
ナ・ディッチャー氏（科  
学委員会委員長・オ  
ーストリア保健省／オ  
ンライン）・児玉三智  
子氏（日本原水爆被害  
者団体協議会（日本被  
団協）事務局次長）



パラレルセッション（薬局企画）



パラレルセッション（平和企画）



ポスターセッション



ワークショップ



## プレカンファレンス GNTH 世界禁煙ネットワーク



## 全体会 1 序章～健康の公正性の重要性と公正性のための医療およびイノベーションの役割



## 全体会 2 医療機関と介護事業所が健康の公正性に取り組むための組織戦略



## 全体会 3 医療機関と介護事業所が患者の健康の公正性を改善するためのアプローチ



## 全体会 4 医療機関と介護事業所が地域の健康の公正性に貢献する方法



## 全体会5 医療部門を超えて公正性を促進するための HPH ネットワークの役割



ABSTRACTBOOK（抄録集）、プログラムの詳細は、  
国際 HPH カンファレンスの公式ページからご覧いただけます。

